

01. 音声通知モデル

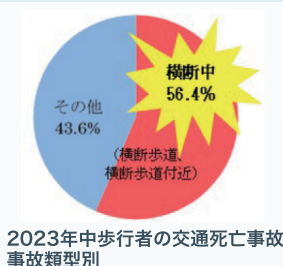
歩行者を検知すると音声等で注意喚起を行います。

活用シーン

- ・昼間、生徒・児童などに特に気を付けて横断してほしい場所
- ・特定の注意を促したい場所

期待する効果

近年、歩行者が横断中でも横断歩道に進入し事故が起きるケースが増えていきます。
音声等で注意喚起を行うことで、信号無視で横断歩道に進入してくる車等に対し**目視で確認するきっかけ**をつくります。



車が来ていないかチェック

横断歩道を渡る前に左右から車が来ていないか確認しましょう

車が止まったかチェック

横断歩道を渡る前に車がきちんと止まったか確認しましょう

横断中も車をチェック

横断歩道を渡っている間も左右から車が来ないか確認しましょう

「簡単で効果的な3つのチェック」の内の1つである「車がきちんと止まったか」の確認を促します。

資料：警視庁 HP より引用
歩行者の交通事故防止
警視庁 (tokyo.lg.jp)

02. 連動モデル

一台のポストが歩行者を検知するとLPWAを用い同一横断歩道に設置されている他のポストを同時に発光させます。

活用シーン

- ・対向2車線などの広い道路
- ・交通量が多い道路
- ・その他、交差点全体を目立たせたい場所

期待する効果

車線数の多い道路等は、ドライバーが確認する範囲が広く、歩行者の存在が小さくなる傾向にあります。
連動モデルは歩行者を検知し、同一横断歩道の**全てのポストを発光**させ車両側に注意を促します。

